

平成28年度施策評価調書

整理番号	3
評価担当課	総務部企画課企画調整係
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	協力体制の強化(1-6-1)		
総合計画の位置づけ	基本目標	1	市民と行政との協働によるまちづくり
	主要施策	6	広域行政の推進

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	上川北部圏域において、交通、医療福祉、防災・救急、衛生、教育文化などで広域ネットワークの形成に努めるとともに、事務事業の共同処理などを推進し、圏域の総合的な発展に努めるもの。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	上川北部消防事務組合、名寄地区衛生施設事務組合等の一部事務組合の設置。
施策の課題	市町村の区域を越えて生活圏が広がっており、その内容も多様化しているため、住民の行政需要が広域化している。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度 (年度)
上川北部消防事務組合	名寄市、下川町、美深町、中川町、音威子府村で消防に関する事務の共同処理を行っている。	目標値				
		実績値				
		進捗率				
名寄地区衛生施設事務組合	名寄市、下川町、美深町、音威子府村で衛生施設事務に関するものの共同処理を行っている。	目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	広域ネットワークの形成により、事務事業の共同処理が図られている。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

上川北部地区広域市町村圏域の中心都市として、今後も広域的な視点で関係市町村との連携・協力を強めていく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業 番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部 評価	2次 評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	上川北部消防事務 組合負担金	上川北部消防事務組合負担 金	53,010	a	a	a	a	a	A	A	A
2	名寄地区衛生施設 事務組合負担金	名寄地区衛生施設事務組合負 担金	404,985	a	a	a	a	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

平成28年度事務事業評価調査

整理番号	3	枝番	1
評価担当者・係・職名・氏名	総務部企画課企画調整係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	上川北部消防事務組合負担金			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	1	市民と行政との協働によるまちづくり
		主要施策	6	広域行政の推進
		基本事業	1	協力体制の強化
		実施計画事業	1	一部事務組合等による共同事業の推進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	上川北部地区での密接な連携と協力のもと、防災・救急など広域的なネットワークを形成し、市民の暮らしを守り、安心安全なまちづくりを行うため。			
対象(何を又は誰を)	名寄市民及び周辺町村民。			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	消火、火災予防、救急救助等の活動			
意図(どのような成果を期待しているか)	名寄市民及び周辺町村民の安心安全の確保。			
事業実施主体	上川北部消防事務組合			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 年度) 無
根拠法令・条例等	消防法			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (H32年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 上川北部消防事務組合負担金	件	目標	1	1	1	1	
			実績	1	1	1	1	
				目標				
				実績				
成果指標	1 消防に関する事務の共同処理	件	目標	1	1	1	1	
			実績	1	1	1	1	
				目標				
				実績				

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	0	0	0	0	
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源					
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数					
総事業費	0	0	0	0	
対前年比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	高度情報通信技術に代表される急速な技術革新、住民ニーズの多様化などにより新たな対応が求められており、近年の高齢化の進展に伴い、救急出動の件数増加や、また、救助出動においても複雑化、多様化が進んでいる状況から、救急・救助体制のさらなる強化が必要。
改善点	指摘事項()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性		
市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	公共的に市(組合)が主体で実施すべき事業である。
有効性		
目的を達成するための方法として有効か？	a	必要かつ有効である。
効率性		
経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	複雑化・多様化する各種災害に的確な対応をするため、消防・救急車両及び資機材の計画的な整備が今後必要である。
公平性		
受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	適正であり、偏りはない。
達成度		
活動指標、成果指標の達成度は？	a	有効に進められており、地域防災の要として、住民ニーズに迅速・的確に対応できる組織・出動体制の整備が図られている。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	上川北部地区での密接な連携と協力のもと、防災・救急など広域的なネットワークを形成し、市民の暮らしが守られている。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成28年度事務事業評価調査

整理番号	3	枝番	2
評価担当者・係・職名・氏名	総務部企画課企画調整係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	名寄地区衛生施設事務組合負担金			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	1	市民と行政との協働によるまちづくり
		主要施策	6	広域行政の推進
		基本事業	1	協力体制の強化
		実施計画事業	1	一部事務組合等による共同事業の推進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	上川北部地区での密接な連携と協力のもと、市民の環境を守り、快適で自然環境にやさしいまちづくりを行うため。			
対象(何を又は誰を)	市民及び周辺町村民			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	周辺市町村の集約的な廃棄物処理			
意図(どのような成果を期待しているか)	分別収集の取り組みや、資源物の分別排出や収集体制の構築、廃棄物の適正な処理により、ごみの減量化、物質循環の推進、最終処分場や他の施設の適正な運営。			
事業実施主体				
事業実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> 請負 <input type="checkbox"/> その他()			
事業実施期間	始期	H18 年度	終期設定	有 (終期 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 名寄地区衛生施設事務組合負担金	件	目標	1	1	1	1	
			実績	1	1	1	1	
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1 廃棄物の共同処理	件	目標	1	1	1	1	
			実績	1	1	1	1	
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費					
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源					
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数					
総事業費	0	0	0	0	
対前年比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

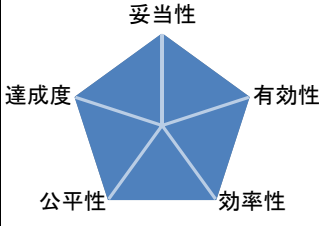
情勢の変化	廃棄物処理にあたっては、環境問題も含め、新たな社会システムを構築することが急務となっており、リデュース(発生抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化)の3R運動の推進を通じ、環境と調和した「循環型社会」の構築が求められている。
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	公共的に市(組合)が主体で実施すべき事業である。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	必要かつ有効である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	3R運動の推進により、ごみを「作らない」、「出さない」ことによること、また、資源を分別して排出することで、ごみ発生の抑制と資源化を行う。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがはないか？	a	適正である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	容器包装の分別収集の取り組み、廃棄物の適正処理を行っている。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	分別収集の取り組み、廃棄物の適正な処理により、環境への配慮、美化意識を向上させ、住みよいまちづくりが行われている。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり